

 あぶない時は早く逃げないといけないから、大雨のようすや土砂災害^{どしゃさいがい}が起りそうなことなどを、放送やインターネットなどで知らせているんだよ。



 へえ、じゃあ、こういうお知らせによく注意して、逃げたりしなきゃいけないわね。

考えてみよう！「身のまわりのあぶないこと」は？

みなさん、土砂災害^{どしゃさいがい}や洪水^{こうずい}にかぎらず、自分の身のまわりにはどんなあぶなことがありますか？また、みなさんはどうやってそれらから自分を守っていますか？

考えたことを書いてみましょう!!



 それぞれの地域の役所がお知らせしているんだ。大雨がふると、あぶない所を見回ってくれる消防団や水防団など地元の人たちに、ふった雨の量や川の水かさなどを知らせたりもしているんだ。みんなが協力して土砂災害や洪水を防いでいるんだよ。



すいぼうだん
水防団のかつどう
(木曽川上流河川事務所提供)

 砂防堰堤をつくったりお知らせしたり、たいへんそうね。

 そういうことは、一人ではできないからみんなでお金を出しあってしているんだよ。そのお金のことを税金^{ぜいきん}というんだ。

 税金^{ぜいきん}は砂防^{さぼう}にしか使われないの？

 道路とか公園とか、みんなが「ないところまるな」「あつたらいいな」と思うものにも使われるんだよ。

